

よっかいち

YOKKAICHI

広報

7

NO.1384 7月上旬号

平成25年(2013年)7月5日発行

編集・発行/四日市市役所広報広聴課
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
市役所電話番号案内 ☎354-8104

特集

理科って楽しい！
企業と連携した教育

表紙「四日市の心に残る風景」
宮妻峡の清流

かつおぶし削り、
やったこと
あるかな？



1

味覚教室～おいしさのひみつ～



2

身近な化学品を考える～ハンドソープ作り～

研究者の気分を
体験してみよう！



3

ナノメートルの世界
～フラッシュメモリの製造～

理科って楽しい！ 企業と連携した教育

特集 企業と連携した教育

本市には、日本有数の石油化学コンビナートをはじめ、半導体、自動車、食品など、さまざまな工業が集積しています。そんなわがまちの特色を生かして、本市では市内の企業の協力を得て、理科教育を行っています。今回の特集では、子どもたちの「理科離れ」「科学技術離れ」に歯止めをかける、企業と連携した四日市市の特色ある教育について、ご紹介します。

子どもたちの「理科離れ」 「科学技術離れ」が心配

理科や科学技術に対して、興味や関心、学習意欲が持てない子どもが、日本には多いという調査結果が出ています。

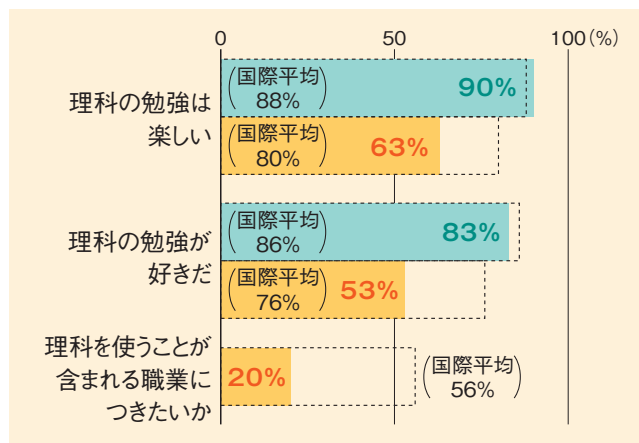
子どもたちの「理科離れ」「科学技術離れ」が進めば、次世代の研究者や技術者が育たなくなるといった問題があります。

高い付加価値のある高度な素材・製品づくりに転換してきているコンビナート企業やオンリーワン・ナンバーワンの技術を持つ中小企業が多い本市においては、優秀な理科系人材の育成が重要です。

理科に対する意識

ティムズ
〔国際数学・理科動向調査(TIMSS2011)〕
〔調査対象〕小学4年生・中学2年生

小学4年生
中学2年生
国際平均



※小数第1位を四捨五入



合成ゴムをつくってみよう



ガラスの中で光が曲がる～さまざまなガラス製品～



電気回路の自動車部品への応用、プロに学ぶ職業観



お茶の科学～カテキン・テアニンの効果～

四日市の強み「工業」

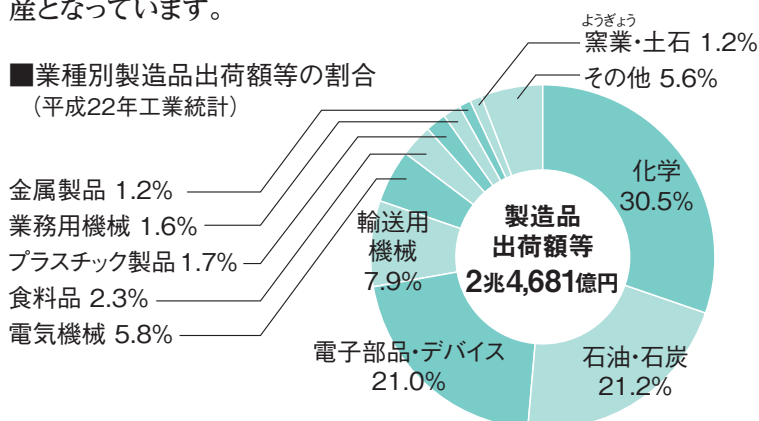
多くの働き手により、
さまざまな製品が生み出されています

本市には、石油・化学、半導体、自動車、食品など多様な工業が集積し、約3万人の皆さんが製品の製造に携わっています。

また、平成22年の工業統計によると、本市の製造品出荷額等は、2兆4,681億円で、全国1,742市区町村の中で第11位となっています。

本市は日本を代表する工業都市の一つであり、本市で生み出されるたくさんの製品とそれらを生み出す働き手は、貴重な財産となっています。

■業種別製造品出荷額等の割合
(平成22年工業統計)



市内沿岸部の石油化学コンビナート

■製造品出荷額等の市町村ランキング
(平成22年工業統計)

順位	市区町村	人口	製造品出荷額等
1	豊田市	42万人	10兆6,273億円
2	市原市	28万人	4兆6,030億円
3	倉敷市	48万人	4兆3,403億円
4	横浜市	369万人	4兆3,363億円
5	川崎市	143万人	4兆793億円
6	大阪市	267万人	3兆5,669億円
7	名古屋市	226万人	3兆3,059億円
8	堺市	84万人	3兆2,256億円
9	神戸市	155万人	2兆9,834億円
10	大分市	48万人	2兆6,622億円
11	四日市市	31万人	2兆4,681億円
12	京都市	147万人	2兆1,926億円
13	広島市	118万人	2兆1,923億円

四日市の強みを生かした「理科教育」

子どもたちの

「理科離れ」「科学技術離れ」に歯止めを!

企業と連携した 理科教育

子どもたちの「理科離れ」「科学技術離れ」に歯止めをかけるため、平成19年度に教育委員会をはじめ、三重大学准教授、市内の小・中学校長、教員ら10人がメンバーとなり、「理科教育推進プロジェクト会」を発足。「理科や科学に対して、もっと興味・関心を持てるような授業を!」と、市内の企業に協力を依頼し、連携理科教育をスタートさせました。

企業との連携理科教育には、企業の担当者が学校に出向き、学校の先生と協力しながら授業を実施する「出前授業」と子どもたちが製造現場を訪問する「社会見学」があります。

また、昨年から、多くの子どもたちが参加できるように、夏休みに「四日市こども科学セミナー」を開催しています。

連携理科教育の協力企業(五十音順)

- 味の素株式会社…………… 2ページ写真 **1**
- コスモ石油株式会社…………… 5ページ写真 **11**
- JSR株式会社…………… 3ページ写真 **4**
- 昭和四日市石油株式会社…………… 7ページ写真 **14**
- 住友電装株式会社…………… 3ページ写真 **6**
- 第一工業製薬株式会社…………… 2ページ写真 **2**
- 太陽化学株式会社…………… 3ページ写真 **7**
- 中部電力株式会社…………… 4ページ写真 **8**
- 株式会社 東芝…………… 2ページ写真 **3**
- 東ソー株式会社…………… 5ページ写真 **10**
- 東邦ガス株式会社…………… 4ページ写真 **9**
- 日本板硝子株式会社…………… 3ページ写真 **5**
- 富士電機株式会社…………… 6ページ写真 **13**
- 株式会社 三重興農社(今年度から実施)
- 三菱化学株式会社…………… 6ページ写真 **12**

出前 授業

学校で学ぶ理科の授業の内容と連携させるなど、普段学校で学んでいる知識が社会で役立つ知識であることを、実際に企業で働いている技術者の生の声で伝えます。

発電の大変さを知り 省エネルギーの意識を高める

発電実験で、電気をつくる大変さを学び、家庭での消費電力の大きさについて考えます。また、日本のエネルギー消費の状況を知り、省エネルギーに対する意識を高めます。

〔授業を受けた
子どもたちの感想〕

発電できて
楽しかった

電気の大変さ、
つくる大変さが
分かった

発電所の仕組みが
よく分かった

1ワット
つくるだけで
とても大変!



8

エネルギーの歴史を知り 地球温暖化についても考える

暮らしが便利になるにつれ深刻化している地球温暖化の問題について知り、環境に優しい「天然ガス」について学びます。また、液体窒素を使った実験で、子どもたちの興味・関心を広げます。

〔授業を受けた
子どもたちの感想〕

実験が楽しくて、
もっとしてみた
かった

温暖化について
知り、家で節電
したい

液体窒素を
床にまくと?



9

球状になって床を転がり、蒸発する様子にびっくり!

コンビナートの歴史なども勉強できる

四日市のコンビナートの歴史や環境問題に対する取り組みも勉強できる理科授業です。

また、ポリエチレン樹脂を使ったコースター作りなど、楽しく学びながら、身の回りにある化学製品への興味を引き出します。



10

社会見学

実際の製造現場を訪問し、自分たちの暮らしを支えている製品がどのようにつくられているのかを、実際に企業で働いている技術者の生の声と自らの目で学びます。

製油所構内をバスで見学。消防車の放水実演では安全対策を学ぶ

石油についてDVDを見て学んだ後、製油所構内をバスで見学します。普段は入ることのできない広大な製油所構内を、担当者の説明を聞きながら巡り、自分たちの生活に密着した石油製品（ガソリン・灯油など）がどのようにつくられるのかを学びます。

また、万一に備えて配備されている消防車の放水実演もあり、広くコンビナート企業の取り組みについて知ることができます。



11

東ソー株式会社 四日市事業所
赤桐 賢治さん



出前授業は、事前に先生方に内容を体験してもらった上で、普段の授業とつながるようにしています。小学生の場合はクイズ形式にしたり、中学生には化学式を用いたり、その年代に合った授業を心掛けています。企業人でありながら、教育の場で子どもたちとじかに触れ合う機会を持てることは、とても嬉しいことです。

子どもたちは、楽しそうに、また真剣に授業を聞いてくれます。この体験が、「理科」に興味を持つきっかけになればと思います。また、ポリ袋や消しゴム・床材など、身近な物の原料が、地元企業でつくられていることを知ってもらいたいです。

理科系学生向けの企業訪問

市内中小製造事業者の理科系人材確保を支援

企業発見バスツアー in 理系天国★四日市

理科系大学生、工業高等専門学校生が、高い技術力を有する市内の中小製造事業者を訪問し、ものづくりの現場を体感できる機会を設けています。市内外を問わず、広く理科系学生の参加を募集します。

インターネットやパンフレットだけでは目にするることのできないものづくりの現場を見学するだけでなく、実際に働いている社員との意見交換会もあります。

※今年度の開催については、工業振興課（☎354-8178）へお問い合わせください



四日市商工会議所主催の市内工業高校生を対象とした企業訪問バスツアーへの補助も行っています

四日市 こども科学 セミナー

多くの子どもたちが科学技術に触れる機会となるように、夏休みに博物館や文化会館を利用して、企業の協力の下、環境とものづくりを学ぶ実験などを行っています。

(昨年の四日市こども科学セミナーの取り組みを紹介します)

実験で体感! 「ものづくりのまち 四日市」

コンビニート企業など9つのブースに、150人の子どもと保護者が集まりました!



実験って、
楽しい!



木炭電池で
発電に挑戦!

バスでめぐる 「環境のまち 四日市」

工場探検!
日本一の自動販売機工場の秘密を探る!

普段何気なく利用している自動販売機の製造工程に、子どもたちは興味津々! 自動販売機にはLEDが使われているなど、省エネのためのいろいろな工夫がされていることも知りました。



13

四日市発! 宇宙への旅 ～JAXA平林久^{ひさし}先生の宇宙クイズに挑戦～

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の平林久さんとJAXA副理事長 樋口清司さんを講師に、「宇宙」に関するクイズや質問コーナーを行いました。科学技術や宇宙に対する子どもたちの夢や希望が広がりました。



宇宙クイズ
正解できるかな?



今年も
開催!

8月3日・9日・12日は「四日市こども科学セミナー」

8月3日(土)

JAXAコズミック
カレッジ in四日市
かさ袋ロケットをつくって
宇宙へ行こう!

8月9日(金)

実験で体感!
「環境とものづくりのまち
四日市」

8月12日(月)

JAXA
さとし
古川聡宇宙飛行士が
やってくる!
「四日市発! 宇宙への旅」



JAXA/GCTC

※事前の申し込みが必要です。詳しくは、四日市こども科学セミナーホームページ
(<http://www.y-kodomo-kagaku.com>)をご覧ください。教育支援課(☎354-8149)へお問い合わせください

より充実した理科教育に向けて

平成25年度から JAXAとの連携事業を開始！

JAXA職員と学校との連携授業

学年・学科に応じた学習内容を、JAXA講師と各小・中学校の担当教員で打ち合わせし、子どもたちに適した授業を実施します。

JAXAの専門性を生かした資料の活用、講師の講演、参加体験的なプログラムなどにより、子どもたちの知的好奇心と探究心を高めます。

その他にも、

- 教員研修講座へのJAXA職員の派遣
- 博物館とJAXAによる連携事業の充実 など

JAXAの協力の下、質の高い理科教育を実施します。

宇宙教育活動に関する協定締結

本市は昨年10月、県内で初めてJAXAと宇宙教育活動に関する協定を締結しました。このことによって今年度から、連携授業などを行うこととなりました。



教員の指導力向上を目指して

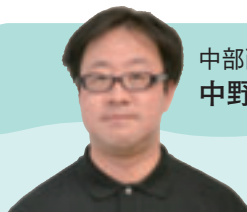
企業と連携、教員研修会

企業との連携は、子どもたちの教育だけでなく、教員向けの研修会にも及びます。

教員自らが「本物と接し、本物から学ぶ」ことで、科学技術の面白さを再認識します。また、高い技術力を有する企業の工場を見学したり、技術者による講義を受講したりすることで、教員の理科に関する知識・理解を深め、日々の理科授業の充実を目指しています。



教員研修会



中部西小学校教員
中野 慎也さん

教員研修会で訪問した企業では、インターネットや本でしか知らなかった最先端の科学技術を実際に目にし、理科の面白さを一層感じました。私たち自身が理科を面白いと感じる心は、学ぶ側の子どもたちにも伝わります。

子どもたちは、実験や本物を見ることが好きです。企業との連携授業を通じて、自分たちの身近にある多くの物が理科と結びついていることを知り、今、理科を学ぶことは、将来なりたい職業へとつながっているということを感じてもらいたいと思います。

取材を終えて

取材の中で、企業担当者から、「理科が好きでも得意ではないからといって製造に関わる仕事に就けない、ということではありません。いろいろな人が集まって1つの企業を支えていることなども、子どもたちに伝えていきます。」という言葉いただきました。「理科離れ」に歯止めをかける企業との連携理科教育は、子どもたちに理科の楽しさを感じてもらおうとともに、「働く」ということを考えてもらう良い機会になっていると感じました。(教育支援課 大池、工業振興課 釜瀬、広報広聴課 塚原)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 教育支援課 ☎354-8149 FAX 359-0280

工業振興課 ☎354-8178 FAX 354-8307

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974

進めています! グリーンカーテン

今年も暑い夏がやってきました。エアコンなどの使用が増え、多くのエネルギーが使われる季節です。省エネ対策のひとつとして、市では、自然の力を使い、暑さを和らげる効果があるグリーンカーテンの普及を進めています。今回は、このグリーンカーテン事業の取り組みについてご紹介します。

桜台小学校のグリーンカーテン
(昨年度)

グリーンカーテンで 省エネ、節電を

グリーンカーテンとは、一年草のツル性の植物(ゴーヤやアサガオなど)を日の当たる窓の外にはわせて作る緑のカーテンです。遮光効果により、夏の日差しを和らげ、室温の上昇を防ぐとともに、葉の蒸散作用で涼しさを感じられるので、エアコンの使用を減らすことができ、省エネ、節電になります。さらに、実がなるものは収穫の楽しみもあります。



レジ袋有料化による収益金で グリーンカーテンを推進

市では平成22年4月からごみの減量を進めるため、スーパーや商店街などの事業者、住民団体、行政で協定を結び、レジ袋の削減(有料化を含む)や簡易包装の推進などに取り組む「ごみ減量リサイクル推進店制度」を朝日町、川越町とともに始めています。

レジ袋の有料化はこの取り組みの一つで、レジ袋の販売代金から経費を差し引いた「収益金」を活用して、ゴーヤやアサガオなどの苗を購入し、昨年度から子どもたちの環境教育の一環として、公立の小・中学校、幼稚園、保育園、各地区市民センターなどでグリーンカーテンづくりを進めています。

応募者募集

グリーンカーテン フォトコンテスト を開催



対象者

市内でグリーンカーテンに取り組む個人・団体

募集期間

8月1日(木)～9月6日(金)

展示と表彰

9月29日(日)に開催する「環境シンポジウム」で、優秀作品の展示と表彰を行います

問い合わせ先

環境保全課

☎ 354-8188 FAX 354-4412

●応募方法など詳しくは、
「かんきょう四日市」ホームページ
(<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu79975.html>)をご覧ください

「環境先進都市 四日市」を みんなの力で創ろう!



ごみ減量リサイクル
推進協議会長／
三重大学理事・副学長
ばくけいしゅく
朴 恵淑さん

四日市市は、平成22年4月1日から、朝日町と川越町とともにレジ袋有料化によるレジ袋の大幅な削減に取り組み、現在では10人のうち9人がマイバッグを持って買い物をする身近な環境問題への取り組みが定着しました。

また、レジ袋収益金(販売金額から原価を差し引いた金額)の有効活用として、昨年から学校や公共施設を中心にグリーンカーテンに取り組み、命を育む喜びと課題を学び、省エネ、節電にも役立てています。

今年は、一般家庭や幼稚園、保育園、事業者とも連携して活動を広げ、秋にはフォトコンテストを行います。

まさに、「たかがレジ袋、されどレジ袋」です。小さな一歩が大きな一歩となり、「環境先進都市 四日市」をみんなの力で創る大きなムーブメントになるよう期待しています。

しっかり 水切りを



生ごみなどの「もやすごみ」の成分の約半分は水分です。夏場は、生ごみが増加する傾向にあります。その中含まれる水分の量も多くなり、その汚れた水がこぼれてごみ集積場を汚したり、悪臭の原因になるなど、地域環境を悪くする原因となります。しっかり水切りをすることで、ごみの減量にもつながります。集積場をきれいに使うためにも、皆さんのご協力をお願いします。

合い言葉はできることから!

生ごみの水切りのポイント



生ごみは一晚、
流し台に置いて
水分を流し、
次の日の朝に
捨てる

野菜は有効に
使い、くずを
出さない、
食事を作り過ぎ
ないようにする

果物など、水分
の多いものは、
細かく切って
おくと水が
切りやすくなる

生ごみ処理機の 購入費を助成します



生ごみを減量できる生ごみ処理機を活用しましょう。

使って
みませんか?

助成額 購入費の半額(上限15,000円)

申込方法 事前申請となっていますので、購入前に申請してください

申請先 生活環境課、各地区市民センター、楠総合支所

補助決定通知が届いてから購入してください



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：7月11日～8月10日 6：40・20：30
(土・日曜日は6：40を9：00に変更)

○きっかけは水俣病やアスベスト公害

大学生のときに、水俣病やアスベスト公害を勉強していました。ある人から「四日市公害の経験をもとに、アスベスト公害についてアドバイスをして欲しい」と求められた時、自分が四日市公害のことを知らないことに気付きました。これをきっかけに、自分のまちで起こった公害を知らないのはいけないと思い、四日市公害の被害を受けた人に話を聞きに行くようになりました。

○四日市公害裁判について思うこと

経済発展を優先した結果、公害が発生し、弱者に被害を集中させてしまったことや、現在も患者さんがみえることを忘れてはいけません。

しかし、四日市公害裁判の判決がなかったら、日本の公害の解決はもっと遅れていたと思います。環境を改善しようとする取り組みが、同じように大気汚染に苦しむ他の地域や被害者を救ったにもかかわらず、まだ公害のイメージが残っていて、四日市の環境改善が正しく認識されていないことが残念です。



←昭和40年代のコンビナート

現在のコンビナート→

さかき だ まさ ふみ
榊枝正史さん

四日市公害の経験を今に生かしたいと考え、平成20年から四日市公害や環境改善の歩みについて学び、現在は、昔の歴史を今につなぐ人として活躍されている榊枝正史さんにお話を聞きました。

○過去を忘れず、未来につなげる

多くの人たちが公害被害に苦しんでいた当時は、空気と同様に海も汚れていたそうです。現在は、海岸で環境調査をすると、多くの生き物を観察することができます。漁師の人からは、「昔は臭い魚が捕れたが、今はそんなことはない」とのお話を聞きました。

公害を再発させないために、市民一人ひとりが四日市公害の歴史や、改善された現在の環境を学ぶ機会を持つことで、今の空気や海を守り、そしてこれからもずっと大事にしたいという気持ちが市民の皆さんの中に育まれるような仕掛けづくりに取り組んでいきます。

○プロジェクト方式で活動します!!

今年度は、移動式公害資料館や貸し出しできる教材作りなどのプロジェクトを実施します。

また、多くの人とつながり、四日市公害だけでなく環境全体を視野に入れ、活動の幅を広げていきたいと思っています。



7月20日から「夏休み四日市公害講座」を開催します！詳しくは、080-5168-4120（榊枝）までお問い合わせください。

有料広告掲載欄



セブン-イレブン
経営者募集 説明会開催中!

説明会日程 **参加無料**
●7/13(土)・8/3(土) 10:00~13:00 四日市都ホテル
●7/19(金) 19:00~21:30 四日市市文化会館

加盟条件
【資格】ご夫婦・親子・兄弟・姉妹で経営に専念できる55歳までの方。
【負担金】●Cタイプ/本部が土地・建物をご用意いたします。255万円(税込)
●Aタイプ/ご自身で土地・店舗をご用意ください。307万5千円(税込)

株式会社 **セブン-イレブン・ジャパン**
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
セブン-イレブン ヨイミセ
0120-711-413
携帯・PHS 利用可(加盟店オーナー募集部直通)受付/9:30~17:30日曜を除く毎日(祝日も可)
セブン オーナー 検索 <http://www.sej.co.jp/owner/>

携帯から簡単アクセス

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

四日市の 地区自慢

富洲原



地区のシンボルマーク

昭和57年に公募で決めました。
富洲原の「ト」をもとに3地区の
「くらし」「まなび」「ふれあい」を3つ
の輪にしてデザイン化しています。

小学校卒業35年目に集う「三鑑会」 絆の強さの表れから、地域への恩返し

卒業後35年経ったら母校に集まる。富洲原地区の富洲原小学校には、「三鑑会」と呼ばれる同窓会があり、昭和30年の発足から今日まで脈々と受け継がれています。「サケの里帰り」という言葉もあるように、母校を懐古するために始められたようですが、ある時期から校歌にある「三つの鑑をしっかりと・・・」にヒントを得て、会の名前がつけられました。

三鑑会は、9月30日の創立記念日後の日曜日に開催され、その日は一気に地区がにぎやかになります。「お盆でも帰らなかったのに」と言いながら、「これだけはなんとしても」と駆け付ける人もたくさんいて、恩師や旧友との再会を喜び合います。また、恩返しの意味で、小学校

豊かな 人のつながり

「富洲原」は、富田一色の「富」、天カ須(洲)賀の「須(洲)」、松原の「原」の3地区の1文字ずつをとった地区名となっています。今回は、それぞれの地区が固有のまつりを持ち、ともすれば分散しがちな地区を一つにまとめている豊かな人のつながりを自慢したいと思います。



市内で唯一現存し、活用されている築後75年の富洲原小学校の講堂に集まった、三鑑会の皆さん

へ記念品を贈呈しています。

このような土壌があるので、歳をとって一定の年齢に達したら「一度は自治会長になって地域へ恩返し」の風土が出来上がっているのが、富洲原地区のまちづくりの最大の強みです。



記念品贈呈式の様子

世代を超え、絆で地区を三重の輪にする「夏まつり」

富洲原地区の夏は、7月の松原「石取り祭り」、8月の富田一色「けんか祭り」、天カ須賀「石取り祭り」で盛り上がりします。さらに昔は、3地区それぞれで盆踊りもあり、地域の人たちの夏のコミュニケーションの場になっていました。

しかし、近年盆踊りが廃れてきたことから、地区社会福祉協議会で夏まつり実行委員会を立ち上げ、平成12年から「夏まつりin富洲原」を開催しています。

このまつりは、富洲原地区の皆さんの触れ合いの場であり、未来を担う子どもたちに、後々まで楽しく語り継がれる夏の思い出づくりの場です。3地区の真ん中に位置する地区市民センターと北部児童館の駐車場を会場にして、



各夜店には行列ができます

いろいろな団体やサークルが手作り夜店を出店し、会場の中央では保育・幼稚園児から老人会までの老若男女が踊りを披露します。子どもたちにとって、夏休みに入った7月下旬の土曜日は、「夏まつりの日」として夜が更けるのも忘れて踊りは続きます。心待ちにする日。実行委員会のメンバーや夜店のスタッフ、踊り手、それを見る人も、みんなで存分に楽しみ、富洲原の住民であることを実感する一夜となります。

各地から赴任する園長や校長からも、「富洲原の夏まつりは素晴らしいの一語に尽きる」と評価していただいています。

問い合わせ先

富洲原地区市民センター内
団体事務局
(☎/FAX 365-1174)

有料
広告
掲載
欄

高速バスって、便利でお得!

大阪・京都⇄四日市

毎日6往復

乗車地／近鉄四日市、生桑(駐車場有)

片道2,500円、往復4,000円(小児半額)

要予約059-229-5555(9:30~18:00)

四日市⇄中部国際空港

毎日9往復

乗車地／新正(駐車場有)、近鉄四日市、

都ホテル、生桑(駐車場有)、東芝、垂坂(駐車場有)

片道1,500円(小児半額)



■お問い合わせ

Mie Kotsu Group

三重交通株式会社

四日市営業所

☎(059) 323-0808

三重交通

検索

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



～「補導活動」について (青少年の健全な育成)～

間もなく夏休みが始まります。例年この時期になると、子どもたちは学校から離れる開放感からか、繁華街などへ出向くことが増え、さまざまな誘惑に接する機会も多くなり、非行につながる場合もあります。この状況を未然に防止する取り組みとして「補導活動」があります。

補導には、娯楽施設などでの日常

「子どもの遊び場」「健康」「相談」などのお知らせや呼びかけを、子育て世代に向けて発信するコーナーです。

的な補導、大日市まつりや年末などの特別補導、三重郡3町(菰野町・朝日町・川越町)と協力した広域補導、そして、各地域で行っている地区補導があります。これらの取り組みは、警察、北勢少年サポートセンター、保護司会、市PTA連絡協議会、地区



補導活動の様子

補導団体、小・中・高等学校、企業などと連携して実施しています。

補導員の皆さんは、子どもたちの目線に立って、寄り添うように「愛の声掛け」を行い、非行の未然防止に努めています。この活動は、今の時代、親以外の大人から声をかけられるということが少なくなりつつあることを考えると、とても大切な取り組みです。

これからも、各関係機関と連携して、青少年の健全な育成のための取り組みを進めていきます。

問い合わせ先

こども未来課青少年育成室
(☎354-8247 FAX354-8061)



～近鉄内部・八王子線沿線の文化財を訪ねて～

近鉄八王子線西日野駅を降りて、天白川沿いに約3km西へ向かって歩くと、北側の小高い丘陵地に吉田神社が見えてきます。この神社で、毎年7月の第3土曜日に行われる行事が「虫送り(除虫祭)」です。

江戸時代に稲作に寄生する害虫によって大きな被害が出たため、害虫を駆除する大松明を作り、鉦と太鼓とともに村中を練り歩いたのが始まりとされます。戦後、一時中断しましたが、1970(昭和45)年に復活

今回紹介するのは、四郷地区・八王子町にある吉田神社で行われている「虫送り(除虫祭)行事」です。

しました。

祭りの夜、高張り提灯^{ちようちん}と大松明が道中を照らす中、山車、大太鼓、大鉦の行列が吉田神社を出発し、町内を巡ります。使用される大松明は直径30cm、長さ3mで、大太鼓は直径210cm、長さ3m、重さ176kg、大



大太鼓の乱舞の様子

鉦は直径94cm、厚さ30cm、重さ280kgあり、美しく飾り付けられます。

祭りのクライマックスでは、いくつもの大松明が燃え盛る中、担ぎ手たちが大太鼓を回転させながら、乱舞・乱打を繰り返したり、見物人をめがけて突進したりして、周囲は熱気に包まれます。

近鉄内部・八王子線に乗って、吉田神社や、四郷風致地区にある散歩道の「秋の小径」、歴史と文化を感じる四郷の町並みなどを訪ねてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ先

社会教育課
(☎354-8240 FAX354-8308)

有料
広告
掲載
欄



CTYで高校野球を応援しよう!



地上デジタル
12CH

開会式から準々決勝まで
四日市市営霞ヶ浦第一野球場より生中継!

詳しい放送日時はCTYホームページでご確認ください。
【URL】<http://www.cty-net.ne.jp>



【受付】月～土(祝日除く)
(窓口)9:30～17:30 (電話)9:00～19:00

『熱中YELL』
7月7日スタート!

北勢地域の出場チーム紹介や、県内3球場で行われる決勝戦までの試合結果を、ダイジェストでお送りします。

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。

今年のデザイン画と
6月中旬の田んぼの状態



田んぼアートの田植え（5月18日 楠地区）

楠町で、葉の色が異なる稲を植え分けて水田に絵を描く「田んぼアート」の田植えがあり、地元の人たちが汗を流しました。デザインは毎年、楠地区の小・中学生から募集して決めています。今年のデザインはホタルです。田んぼアートの見頃は7月下旬ごろまでで、近鉄名古屋線（塩浜～北楠駅間）の車窓からも楽しめます。



ホタル観察会（保々の自然に親しむ会主催）（6月2日 保々地区）

「保々ホタルの会」によるホタルの一生についてのお話の後、西村町の彦左川周辺でホタルの観察会が行われました。この日は約1,400匹のホタルによる光の群舞により、幻想的な雰囲気広がりました。この風景が見られるのは、地元の西村町と保々ホタルの会の皆さんによる地道なホタル保全活動のたまものです。

私の好きな

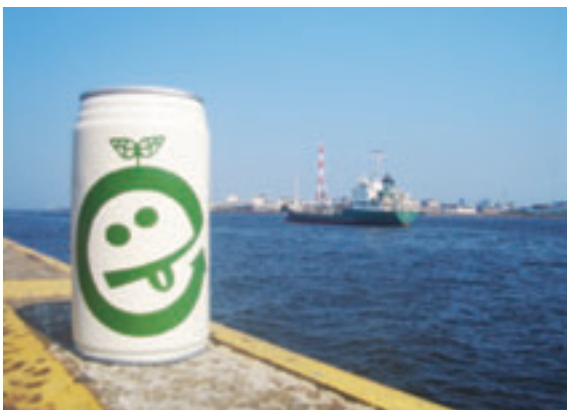
四日市



市民の皆さんから市内のすてきな風景や、その風景をバックにしたお茶目なお子さんなどの写真を寄せていただくコーナーです。今回はどんな写真かな？

あなたの好きな四日市の写真を募集！

ご応募は、住所、名前（ふりがな）、電話番号、コメントとともに、メールか郵送、直接、〒510-8601 広報広聴課（市役所8階 ☎354-8244 FAX354-3974 kouhoukouchou@city.yokkaichi.mie.jp）へ。選定の上、広報よっかいちで掲載します。



▶▶ 采女が丘二丁目にお住まいの柴田浩行さんからの投稿
四日市のまちのイメージが、「地球に優しいまち」になって欲しいとの思いで、おしゃれでかわいい自作のエコ缶と穏やかで美しい四日市港の写真を撮って送っていただきました。



▶▶ 笹川八丁目にお住まいの山木恵さんからの投稿
「家族で釣りに行った時に、すごく綺麗でした」と送っていただきました。撮影する時間帯によって、さまざまな風景が楽しめる四日市港。海面に映る日の光がとても美しい1枚です。

有料広告掲載欄

**お困りではありませんか？
早めのご相談を！**

例えば…

- 交通事故・示談の話が進まない…
- 借金・毎月の返済に追われています…
- 相続・兄弟でもめています…
- 離婚・調停や裁判の対応はどうすれば？
- その他 慰謝料・不動産・会社法務など

近鉄四日市駅から徒歩1分！南改札口（東口）すぐ！
四日市市浜田町5番27号 第3加藤ビル5階
（1階にJTBが入ったビル）

至名古駅
近鉄四日市駅
JR四日市駅
ロータリー
JTB
至鈴鹿

「お気軽にお電話ください」 土曜日夜間も対応可（要予約）
「経験を積んだ弁護士が迅速＆丁寧に対応します！」

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆
◆一般法律相談料（初回）30分 5,250円（税込）◆

《予約制》☎059-350-2080

お い ち
尾市法律事務所
弁護士 尾市 淳二（三重弁護士会所属）
（財）日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

「安全・安心なインターネット利用のルールづくりを」

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



現在、私たちの生活においてインターネットは、パソコンやスマートフォンを含む携帯電話に加えて、ゲーム機などからも利用できるようになり、子どもでも簡単に利用することが可能です。インターネットは私たちが必要とする情報を瞬時に提供してくれるなど、大変便利なものである一方、人権を脅かすようなトラブルも発生しています。

例えば、友だちをつくるのが本来の目的であるコミュニティサイトで、相手を誹謗中傷する書き込みが載っていることがあります。相手には自分の顔が見えないことや、匿名

名であるということから、安易に書き込み、内容がエスカレートする場合があります。こうしたトラブルで傷つく子どもたちが少なくありません。

【子どもたちを守るために】

このような状況から子どもたちを守るために、各小・中学校では、「ネットモラル」の授業を行っており、その中で、インターネットの使い方を誤れば、プライバシーを侵害したり、差別を助長したりする道具になることも、子どもたちは学んでいます。

また、こども未来課では、インター

ネット利用に関する各家庭でのルールづくりについて、ネット研修会などを通して、保護者などへの啓発を行っています。皆さんもインターネットの安全安心な利用について、一度、身近な人と語り合ってみてください。



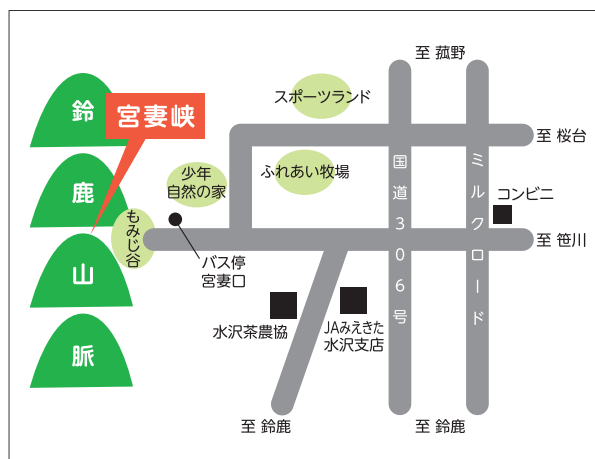
問い合わせ先

こども未来課青少年育成室
(☎354-8247 FAX354-8061)

表紙こぼれ話

今月は、鈴鹿山脈の麓、宮妻峡の清流（水沢町）です。

自然に囲まれ、渓谷美を堪能できる宮妻峡は、登山、キャンプ、バーベキューなどアウトドアを楽しめる場所として人気があります。



三重交通バス宮妻口行き 終点下車 徒歩40分

今年度の表紙のテーマは、「四日市の心に残る風景」です。
全12回、四季折々に見ることができる四日市の美しい風景をご紹介します。

■おまけショット

宮妻峡への入り口にある「もみじ谷」。

約300本のモミジが色づく紅葉の名所として知られていますが、この時期は、美しい新緑が楽しめる穴場スポットです。



もみじ谷の新緑

もうすぐ夏休みです。宮妻峡の周辺には、スポーツランドやふれあい牧場など、家族で楽しめる遊び場がたくさんあります。ぜひお出掛けください。

問い合わせ先

広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

有料広告掲載欄

くわしん カーライフローン

平成25年4月1日(月)～平成25年9月30日(月)

【適用金利】

5年以内 年1.70%～年2.50%
5年超8年以内 年2.70%～年3.50%

※ 詳しくは、右記店舗窓口までお問い合わせ下さい。

■お使いみち

新車・中古車の購入、車検・車の修理費用、免許取得費用他、お車に関する資金。

■ご融資金額

500万円以内

■ご返済期間

3ヶ月以上8年以内

桑名信用金庫

四日市西支店
TEL 351-2577
生桑支店
TEL 332-8181
羽津支店
TEL 332-2233
大矢知支店
TEL 364-3311
川越支店
TEL 364-8811

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,341人[5月末日現在(前年比-963)] ■火災件数 10件[5月分(前年比-1)] ■交通事故件数 964件[5月分]